



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成26年2月10日

上場会社名 株式会社大運 上場取引所 東
 コード番号 9363 URL <http://www.daiunex.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高橋 健一
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 吉野 弘一 (TEL) 06-6532-4101
 四半期報告書提出予定日 平成26年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	4,836	0.3	97	21.6	108	48.6	124	81.8
25年3月期第3四半期	4,819	0.6	80	26.6	72	21.4	68	19.4
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
26年3月期第3四半期	2.01		—					
25年3月期第3四半期	1.10		—					

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	5,676	2,053	36.2
25年3月期	5,403	1,843	34.1

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 2,053百万円 25年3月期 1,843百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

配当の状況に関する注記

3. 平成26年3月期の業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,300	1.0	70	2.2	80	48.8	110	132.2	1.77

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料5ページ「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期3Q	62,280,394株	25年3月期	62,280,394株
26年3月期3Q	100,749株	25年3月期	96,848株
26年3月期3Q	62,181,860株	25年3月期3Q	62,185,346株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

●この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの対象外であり、この四半期決算の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

●本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の基準に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期財務諸表	6
(1) 四半期貸借対照表	6
(2) 四半期損益計算書	8
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間（平成25年4月1日～平成25年12月）におけるわが国経済は、円安・株高が進行し、製造業を中心に業績回復の傾向が見受けられ、全般的に明るい見通しが多くなってきました。しかしながら、円安が原材料コストや物価の押し上げとなる面もあり、先行き不透明感も残る状況が続いております。

当業界におきましては、荷動きが徐々に活発化しつつあるものの、低価格化競争が続き、楽観視できない状況にあります。

このような状況の中、当社におきましては、受注の拡大ならびに収益構造の改善に取り組んでまいりました。営業収入は小幅ながら増加傾向にあり、引き続き経費削減等により損益分岐点を下げております。

前第3四半期累計期間と比べ、円安の影響が徐々に浸透し、輸出関連の収入は堅調に推移したものの、輸入関連の収入は伸び悩みました。

この結果、当第3四半期累計期間における営業収入は4,836,361千円で、前年同四半期と比べ16,440千円（0.3%）の増収、営業利益は97,519千円で、前年同四半期と比べ17,323千円（21.6%）の増益、経常利益は108,158千円で、前年同四半期と比べ35,368千円（48.6%）の増益となりました。投資有価証券売却益38,081千円を計上し、四半期純利益は124,850千円で、前年同四半期と比べ56,176千円（81.8%）の増益となりました。

セグメントごとの業績の状況を示すと次のとおりであります。

①港湾運送事業

当社の主要セグメントである当セグメントにおきましては、円安傾向の影響により、輸出関連の収入は堅調に推移したものの、輸入関連の収入は伸び悩みました。

この結果、営業収入（セグメント間の内部売上高又は振替高を除く）は、4,638,897千円で前年同四半期と比べ18,768千円（0.4%）の増収となり、全セグメントの95.9%を占めております。

セグメント利益（営業利益）は377,444千円で前年同四半期と比べ68,421千円（22.1%）の増益となりました。

②自動車運送事業

当セグメントにおきましては、厳しい状況にあり、外注化の比重を高めております。

この結果、営業収入（セグメント間の内部売上高又は振替高を除く）は190,450千円で前年同四半期と比べ585千円（0.3%）の減収となり、全セグメントの3.9%を占めております。

セグメント損失は34,984千円で、前年同四半期と比べ24,861千円（前年同四半期のセグメント損失は10,122千円）の減益となりました。

③その他

当セグメントにおきましては、輸入関連の荷動きが減少したことにより、海上保険収入は伸び悩みました。

この結果、営業収入は7,013千円で、前年同四半期と比べ1,742千円（19.9%）の減収となり、全セグメントの0.2%を占めております。

セグメント利益（営業利益）は6,877千円で、前年同四半期と比べ1,772千円（20.5%）の減益となりました。

（2）財政状態に関する説明

（流動資産）

当第3四半期会計期間末における流動資産は、前事業年度末より159,101千円増加して3,296,646千円となりました。これは営業未収入金の増加100,326千円、立替金の増加68,590千円、現金及び預金の減少3,921千円等によるものであります。

（固定資産）

当第3四半期会計期間末における固定資産は、前事業年度末より109,100千円増加して2,366,670千円となりました。これは投資有価証券の増加117,158千円、建設仮勘定の減少4,500千円、差入保証金の減少3,437千円等によるものであります。

（繰延資産）

当第3四半期会計期間末における繰延資産は前事業年度末より4,193千円増加して12,923千円となりました。これは社債発行に伴う社債発行費の増加4,193千円によるものであります。

（流動負債）

当第3四半期会計期間末における流動負債は、前事業年度末より67,562千円減少して2,027,232千円となりました。これは短期借入金の減少63,600千円、支払手形の減少6,196千円等によるものであります。

（固定負債）

当第3四半期会計期間末における固定負債は、前事業年度末より130,056千円増加して1,595,307千円となりました。これは社債の増加157,800千円、長期借入金の減少21,351千円等によるものであります。

（純資産）

当第3四半期会計期間における純資産は、前事業年度末より209,901千円増加して2,053,699千円となりました。これは繰越利益剰余金の増加124,850千円、その他有価証券評価差額金の増加85,210千円等によるものであります。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期通期業績予想の修正

（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	6,300	70	60	50	0 80
今回発表予想(B)	6,300	70	80	110	1 77
増減額(B-A)	0	0	20	60	—
増減率(%)	0	0	33.3	120.0	—
(ご参考) 前期実績 (平成25年3月期)	6,238	68	53	47	0 76

平成26年5月14日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」に記載しておりますように、平成25年11月12日の「平成25年3月期決算短信」で公表いたしました平成26年3月期通期の経常利益、当期純利益及び1株当たり四当期純利益の業績予想を上記の通り修正しております。これは、受取家賃（雑収入・営業外収益）の増加及び投資有価証券売却益の計上等によるものです。

なお、売上高、営業利益の通期業績予想は、前回発表予想を修正しておりません。これは、平成26年3月期第3四半期累計期間の業績は順調に推移しているものの、中国の旧正月に伴う荷動きの減少に起因する第4四半期会計期間の業績落ち込みが予想されるためです。

上記の業績予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

（税金費用の計算）

税金費用については、当第2四半期累計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,038,697	2,034,775
受取手形	6,107	5,222
営業未収入金	684,888	785,214
立替金	354,060	422,651
その他	61,980	69,299
貸倒引当金	△8,190	△20,517
流動資産合計	3,137,544	3,296,646
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	201,478	190,294
構築物（純額）	2,552	2,438
機械及び装置（純額）	19,114	15,522
車両運搬具（純額）	48,808	36,471
工具、器具及び備品（純額）	10,619	9,264
土地	576,183	576,183
リース資産（純額）	27,584	34,402
建設仮勘定	4,500	—
有形固定資産合計	890,841	864,577
無形固定資産		
のれん	391,034	370,086
その他	103,282	104,337
無形固定資産合計	494,316	474,424
投資その他の資産		
投資有価証券	669,293	786,452
差入保証金	99,194	95,757
その他	384,739	411,703
貸倒引当金	△280,815	△266,244
投資その他の資産合計	872,412	1,027,669
固定資産合計	2,257,569	2,366,670
繰延資産		
社債発行費	8,730	12,923
繰延資産合計	8,730	12,923
資産合計	5,403,844	5,676,240

（単位：千円）

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形	47,874	41,678
営業未払金	479,705	523,232
短期借入金	648,600	585,000
1年内償還予定の社債	92,100	127,600
1年内返済予定の長期借入金	605,577	571,395
未払金	75,842	52,934
未払法人税等	13,682	18,561
賞与引当金	34,453	9,064
その他	96,960	97,766
流動負債合計	2,094,795	2,027,232
固定負債		
社債	296,850	454,650
長期借入金	887,975	866,624
退職給付引当金	175,572	183,083
その他	104,854	90,950
固定負債合計	1,465,251	1,595,307
負債合計	3,560,046	3,622,540
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,394,398	2,394,398
資本剰余金		
資本準備金	314,304	314,304
その他資本剰余金	433,466	433,446
資本剰余金合計	747,771	747,751
利益剰余金		
利益準備金	5,856	5,856
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	△1,152,310	△1,027,459
利益剰余金合計	△1,146,454	△1,021,603
自己株式	△10,371	△10,511
株主資本合計	1,985,344	2,110,035
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△141,545	△56,335
評価・換算差額等合計	△141,545	△56,335
純資産合計	1,843,798	2,053,699
負債純資産合計	5,403,844	5,676,240

（2）四半期損益計算書
第3四半期累計期間

（単位：千円）

	前第3四半期累計期間 （自平成24年4月1日 至平成24年12月31日）	当第3四半期累計期間 （自平成25年4月1日 至平成25年12月31日）
営業収入	4,819,921	4,836,361
営業原価	4,512,371	4,486,926
営業総利益	307,550	349,435
販売費及び一般管理費	227,354	251,915
営業利益	80,195	97,519
営業外収益		
受取利息	151	138
受取配当金	13,204	13,273
雑収入	25,950	35,707
営業外収益合計	39,306	49,119
営業外費用		
支払利息	40,960	36,264
社債発行費償却	413	1,806
貸倒引当金繰入額	1,754	—
雑損失	3,583	409
営業外費用合計	46,712	38,480
経常利益	72,790	108,158
特別利益		
固定資産売却益	1,763	2,652
投資有価証券売却益	—	38,081
特別利益合計	1,763	40,733
特別損失		
固定資産売却損	448	—
固定資産除却損	255	42
投資有価証券評価損	—	2,499
特別損失合計	703	2,542
税引前四半期純利益	73,850	146,349
法人税、住民税及び事業税	5,176	21,499
法人税等合計	5,176	21,499
四半期純利益	68,674	124,850

（3）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。